

制を整えることが出来まし
た。

本年3月、放射線に関する
有識者で組織する第5回の広
野町放射線健康対策委員会を
書面で開催し、外部被ばく・
内部被ばく、食品等のモニタ
リングデータをもとに、放射
線防護対策についての分析・
評価と助言をいただき、令和
2年度の事業計画に反映いた
します。

本年3月、障害者基本法に
基づき、障がい者が望む地域
生活実現のための支援の充
実、障がい児支援に対する
ニーズへのきめ細やかな対応
の充実などを目指し、「第2
次障がい者計画（第3次）」
を策定しました。この計画に
基づき、障がいのあるお子様
からご高齢の方までのすべて
の町民が、それぞれの状況に
応じて身近な場所で必要な
サービスを利用でき、就労を
はじめとする充実した活動や
社会参加など、生活の質の向
上につながっていく環境づく
りを進めていきます。

新型コロナウイルス感染症
対策については、2月28日の
広野町新型コロナウイルス対
策本部設置以降、感染症対策
のチラシや防災行政無線を活
用した住民周知、マスクの配
布、イベントの自粛、公共施



住民周知用チラシ

設の使用制限、町内医療機関
や事業所に対する協力依頼等
の施策を対策本部会議で協議
の上、決定し、新型コロナウイルス
感染症予防、感染拡大防
止を図るさまざまな施策を展
開して参りました。4月16日
に町内居住者に陽性患者が発
生しましたが、新たな陽性患
者が発生することなく今日を
迎えております。今後の新型
コロナウイルス感染拡大防止
対策として、医療体制の検証
と構築に取り組み、流行の第
二波に備え町民等に対する継
続的な情報提供を行い、国・
県と連携のもと「新しい生活
様式」の定着に向けた住民周
知に取り組みます。

6月8日、社会福祉協議会
理事会において、感染拡大防
止のため中止していたデイ
サービス事業を5月7日に、
生きがい事業を5月20日に、
ふるさとサロンを6月1日に
再開していることを報告しま
した。

いごも家庭課

4月3日、広野町児童館で
入館式を行い、広野小学校の
児童76人が入館しました。今
年度は新型コロナウイルス感
染症対策のため規模を縮小
し、児童と新たに入館される
児童の保護者のみで開催しま
した。

4月4日、広野こども園の
入園式を行い、ゼロ歳児から
5歳児、88人の園児が入園し
ました。児童館同様に規模を
縮小し、新入園の園児と保護
者のみで開催しました。



こども園入園式

5月15日、新型コロナウイルス
感染症緊急経済対策の一
つである「子育て世帯への臨
時特別給付金」の案内通知を
保護者に発送し、6月5日の
児童手当の給付に併せて特別
給付金を支給しました。
5月21日、28日の両日、こ

れまで延期としていました乳
幼児健診について、マスクの
着用や換気、検診者間の距離
を保つなど、感染防止対策を
十分講じたうえで実施し、2
日合わせて15名の参加をいた
だきました。

環境防災課

3月27日、災害による人的
被害の軽減と住民防災意識の
向上を目的に、町内の危険箇
所、災害時の避難所や避難経
路など、多くの防災情報を町
民に分かりやすく掲載した広
野町防災マップを作成し、町
内全戸に配布しました。住民
説明会でも説明いたしますが
広野町防災マップについては
6月28日に防災マップに係る
説明会を開催いたします。

3月29日、広野町消防団本
団と事務局により町内すべて
の消防屯所を現地確認し、消
防車両やポンプの整備状況、
消防器具の配置状況など、消
防機械器具の点検をしました。

4月6日から4月15日まで
の「春の全国交通安全運動」
期間中、国道6号線役場前交
差点及び駅前交差点などにお
いて、双葉警察署及び富岡地
区交通安全協会広野分会のご
協力をいただきながら、朝の
通勤通学時間帯に交通立哨を

健康福祉課

町民の皆さんが、健康で安
心して暮らせるよう医療環境
の充実向上を図ることを目的
とした医療環境向上推進事業
につきましては、令和元年度
において、土曜・日曜・祝日
等の休診日、延べ120日間
において当番制による診療体

実施しました。役場職員は期
間中横断幕、手持ち看板など
を持ち交通立哨を行いました。
た。



交通安全のため立哨活動

4月6日から4月20日、5
月11日から5月29日までの
小・中学校登校日に、児童・
生徒の通学路における交通事
故防止を図るため、登校時に
役場職員による交通巡回を実
施しました。

4月12日に開催を予定して
おりました広野町消防団・婦
人消防隊春季検閲式について
は、新型コロナウイルス感染
症の感染拡大防止のため中止
いたしました。

4月21日、新型コロナウイルス
感染症対策について県知
事から県内における緊急事態
措置が発せられ、町は、広野
町安心・安全ネットワーク会
議を緊急に開催し、感染拡大
防止のため、「不要不急の外

出自粛」、「繁華街への外出自
粛」、「都道府県をまたいだ不
要不急の移動の自粛」の3点
について、会員企業に協力を
求め、安全の確立に取り組み
ました。

4月28日、新型コロナウイルス
の感染が拡大する中で豪
雨災害による非常事態を想定
し、「風水害時の避難所にお
ける新型コロナウイルス感染
症への対応」のマニュアルを
まとめ、町ホームページ、行
政区回覧、広報ひろので周知
を図り、非常事態における避
難体制の構築に取り組みまし
た。

5月28日、環境省の中間貯
蔵施設へ赴き、除染土壌等の
「受入・分別施設」や分別処
理された土壌を貯蔵する「土
壌貯蔵施設」を視察し、中間
貯蔵事業が着実に進展してい
ること、双葉地方広域市町村
圏組合の廃棄物の管理型最終
処分場「クリーンセンターふ
たば」においては、施設復旧
の基本設計に関する作業や測
量調査等の実施状況を確認し
ました。着実な事業運営に謝
意を表し地域住民理解のもと
安全管理体制の徹底を要望し
ました。

6月9日、令和2年度第1
回広野町消防団分団長・隊長
会議を開催し、令和2年度年

産業振興課

次活動計画等について協議す
るとともに、新型コロナウイルス
感染症拡大に伴う消防団
の活動方針を確認しました。
会議では出席者に町の新型コ
ロナウイルス感染症対策の経
過と今後の感染症対策につい
て説明し、新しい生活様式の
定着に向け理解を共有しまし
た。

3月25日から27日にか
けて、県の「アグリイノベー
ション活用型営農モデル推進
事業」の採択を受けた天栄村
のマルヤス産業株式会社
折木字正木内地区ほ場にお
いて、リーフレタス、白菜、キ
ャベツの苗の定植作業を実施
しました。5月18日には、リー
フレタスの収穫作業を事業着
手後初めて実施しました。同
事業は、東日本大震災及び原
子力災害により休耕となっ
ている遊休農地等を活用し、I
CTを活用したロボット、情
報通信等、先進技術活用によ
る大規模な野菜栽培モデル事
業であり、町は休耕田や遊休
農地の活用を図り耕作放棄地
化を防ぐとともに、農業の発
展と雇用の創出に取り組んで
います。

6月1日には、ふるさと心
援寄附金の返礼品として、寄
附金額に応じて令和2年産特
別栽培米コシヒカリや広野産
米を原材料とする日本酒を納

は、今年度も引き続き町内
での犯罪抑止及び児童生徒の登
下校時における交通事故防止
のため、午後3時から翌朝8
時半までの間、町内全域のパ
トロールを実施しています。
今年度の水稻作付面積につ
いては、現在進めている県営
ほ場整備事業実施地区のう
ち、亀ヶ崎地区の一部、小滝
平地区、鶴ヶ崎地区及び津波
被害があり町事業として実施
した浅見北地区ほ場整備地区
において作付けが行われまし
た。町全体としては、およそ
158ヘクタールになると見
込んでおり、今後、作付され
た水田の現地確認を行ない、
集計作業を行っていきます。



久保田地区での田植え

6月1日には、ふるさと心
援寄附金の返礼品として、寄
附金額に応じて令和2年産特
別栽培米コシヒカリや広野産
米を原材料とする日本酒を納

建設課

税者に送付するための寄附金
受付を開始しました。
6月8日、町内7地区で実
施されている県営広野地区ほ
場整備事業において、亀ヶ崎
工区推進委員会からの補完工
事等に対する要望書提出を踏
まえ、他の6工区推進委員会
からの要望、意見も集約し、
町において諸課題に対する要
望として取りまとめ、推進委
員会の代表者とともに県相
双葉林事務所長へ要望書を提出
しました。県と連携し、ほ場
整備の目的達成に向け地権者
の理解と協力が得られるよう
取り組めます。

3月から5月にかけては、
令和元年の台風19号及び21号
に伴う豪雨により発生した被
災箇所の災害復旧に重点を置
き取り組みました。災害復旧
工事の進捗については、町及
び県管理施設の被災箇所が全
体で151件と町内において
これまでに無い大規模な被害
状況でありますが、国・県と
連携のもと、事業者、関係機
関の協力により全体の約6割
の箇所については復旧が完了
しています。

農業施設災害復旧について
は、令和2年の作付けに間に